

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク (GRESB) プレスリリース

－日本版追加情報－

2015年9月2日

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク (GRESB)とは、不動産セクターの環境・社会・ガバナンス (ESG) 配慮を測る年次のベンチマーク調査で、国連責任投資原則を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設されました。投資先の選定や投資先との対話に GRESB を活用する投資家メンバーは、現在 51 社 (運用資産額 6 兆 1000 億米ドル (約 732 兆円、1 米ドル=120 円で換算)) に上り、我が国からは株式会社日本政策投資銀行が参加しています。また、一般社団法人不動産証券化協会 (ARES) と一般社団法人日本サステナブル建築協会 (JSBC) が、GRESB の公式なサポーターとして日本国内での普及に協力しています。

本年調査へのグローバルの参加者数 707 のうち、日本市場からの参加者数は 35 (社数では 32 注) となりました。内訳は、上場会社が 24 (24 社)、非上場会社が 11 (8 社) となっています (詳細別紙)。J-REIT からは新たに 5 社が参加して計 21 社となり、時価総額ベースでは J-REIT 市場の 60% (8 月 31 日時点) に達しました。

なお、サステナビリティに関する取組みが傑出しているアジアのセクター・リーダーとして、積水ハウス・SI レジデンシャル投資法人 (上場・住居)、日本プライムリアルティ投資法人 (上場・複合型 (オフィス・商業))、ヒューリック株式会社 (上場・複合型 (オフィス・住居))、グッドマン・ジャパン・コア・ファンド (グッドマングループ) (非上場・産業施設) の 4 参加者が選出されました。また、特に優れた取組みをイノベーション・ケーススタディとして公表しており、イオンモール株式会社、日本リテールファンド投資法人、日本プロロジスリート投資法人の事例が掲載されています。

詳細については、GRESB ホームページ (<http://gresb.com/>) より、2015 年 GRESB 調査レポートやその他の追加情報をご参照ください。

注) 複数ファンドで回答した会社があるため参加者数と社数が異なる

お問い合わせ先:

CSR デザイン環境投資顧問株式会社 (GRESB 日本市場アドバイザー)

堀江隆一 (ほりえ りゅういち)、高木智子 (たかぎ ともこ)、前田花恵 (まえだ はなえ)

電話: 03-5213-4830 / E メール: gia@csr-design.com

GRESB 2015 年調査 参加者（日本市場）

参加者数：35（32 社） 注）複数ファンドで回答した会社があるため参加者数と社数が異なる

上場：24（24 社）

非上場：11（8 社）

[うち、J-REIT：21（21 社）]

アクティビア・プロパティーズ投資法人
アドバンス・レジデンス投資法人
イオンモール株式会社
大和ハウス・レジデンシャル投資法人
大和証券オフィス投資法人
フロンティア不動産投資法人
GLP 投資法人
平和不動産リート投資法人
ヒューリック株式会社
産業ファンド投資法人
ジャパンエクセレント投資法人
日本ロジスティクスファンド投資法人
日本プライムリアルティ投資法人
日本リテールファンド投資法人
ケネディクス・オフィス投資法人
森ヒルズリート投資法人
日本ビルファンド投資法人
日本プロロジスリート投資法人
オリックス不動産投資法人
プレミアム投資法人
積水ハウス・SI レジデンシャル投資法人
東京建物株式会社
東急リアル・エステート投資法人
ユナイテッド・アーバン投資法人

DBJ アセットマネジメント株式会社
グローバル・ロジスティック・プロパ
ティーズ株式会社
グッドマングループ
グリーンオーク・リアルエステート
ケネディクス株式会社
ラサール不動産投資顧問株式会社
レッドウッド・グループ
株式会社ザイマックス不動産投資顧問

（英語表記でのアルファベット順）

以上